

令和3年度実施 卒業生へのアンケート
 (対象者：令和元年度、平成26・21・16・11年度卒業生)

長崎県立諫早特別支援学校 進路指導部

氏名 () 年齢 (歳)

※平成(元・26・21・16・11)年度卒業

現住所(〒)

手帳の種類・等級(身体：) (療育：) (精神：)

(1) 高等部卒業後の進路について、①～⑦の当てはまる項目にチェック・記入をお願いします。

①一般就労 (勤務先：)

②就労継続支援A型 (事業所名：)

③就労継続支援B型 (事業所名：)

④就労移行支援事業所 (事業所名：)

⑤生活介護事業所 (事業所名：)

※複数の利用があった場合は全て記入してください。

⑥入所施設(療養介護含む) (施設名：)

⑦進学【(短期)大学・訓練校・専門学校】(進学先：)

(2) 現在の状況について、①～⑦の当てはまる項目にチェックの記入をお願いします。

<input type="checkbox"/> ①一般就労	I (p. 2-p. 3) のアンケートにお答えください。
<input type="checkbox"/> ②就労継続支援A型	I (p. 2-p. 3) のアンケートにお答えください。
<input type="checkbox"/> ③就労継続支援B型	I (p. 2-p. 3) のアンケートにお答えください。
<input type="checkbox"/> ④就労移行支援	II (p. 4) のアンケートにお答えください。
<input type="checkbox"/> ⑤生活介護事業所	III (p. 5-p. 6) のアンケートにお答えください。
<input type="checkbox"/> ⑥入所施設	III (p. 5-p. 6) のアンケートにお答えください。
<input type="checkbox"/> ⑦大学・専門学校・訓練校	IV (p. 7) のアンケートにお答えください。

(※p. 8-p. 11 は全ての方がお答えください。)

I 一般就労・就労継続支援 A 型・就労継続支援 B 型の方にお聞きします。

(1) 現在の状況について①～③の項目にチェック・記入をお願いします。

①一般就労

勤務先			
勤務の内容			
勤務時間	: から : まで	勤務形態	<input type="checkbox"/> パートタイム <input type="checkbox"/> 正規社員
勤務日数	週 日間	勤務年数	平成 年から現在まで

②就労継続支援 A 型

事業所名			
勤務の内容			
利用時間	: から : まで	利用曜日	月・火・水・木・金・土・日
利用年数	平成 年から現在まで	※利用している曜日に○をつけてください。	

③就労継続支援 B 型

事業所名			
仕事の内容			
利用時間	: から : まで	利用日数	月・火・水・木・金・土・日
利用年数	平成 年から現在まで	※利用している曜日に○をつけてください。	

(2) 就労について

【就労先で、困りごと、悩み、トラブルなどがありますか。】

ある ない

→「ある」と答えた方はどのような内容ですか。選択した項目について、どういった困りごとかを()
に具体的にお書きください。

給料・工賃について ()

勤務時間について ()

仕事・作業内容について ()

人間関係・コミュニケーション ()

その他 ()

【困ったことや悩み事があった時に誰か相談できる人がいますか。】

いる いない

→「いる」と答えた方は誰に相談していますか。

家族 知人・友人 就労先の上司・同僚・支援員 学校の先生

関係機関 (障害者就業・生活支援センター、長崎障害者職業センター、ハローワーク)

その他 ()

【卒業してからこれまでに取得した検定や資格がありますか。】

ある ない

→あると答えた方は取得した資格を教えてください（ ）

【卒業後、就労した会社または事業所を辞めたことがありますか。】

ある ない

→「ある」と答えた方は、辞めるまでの就労年数と辞めた理由について教えてください。

就労年数（ 年 月）

辞めた理由（ ）

【現在1ヶ月の給料・工賃は平均いくらぐらいですか。】

（約 円）

【給料・工賃の管理は誰がしていますか。】

本人 保護者 同居の家族 福祉事業所の生活支援員 その他（ ）

【1ヶ月の給料・工賃をどのように使っていますか。差し支えなければ、それぞれの項目に係るおおよその額を記入してください。】

家賃（ 円） 光熱費（ 円） 食費（ 円）

小遣い（ 円） 貯金（ 円）

購入品等のローン（ 円） 習い事等の月謝（ 円）

親への仕送り・こづかい等（ 円） その他（ に 円）

趣味・交際費

【現在の就労先に満足していますか。】

満足している まあまあ満足している やや不満である やめたいと思っている

→「やや不満がある」「やめたいと思っている」と答えた方は、その理由を教えてください。

（ ）

※p. 8～p. 11 のアンケートにお答えください。

II 就労移行支援の方にお聞きします。

(1) 現在の状況についてチェック・記入をお願いします。

事業所名			
訓練の内容			
利用時間	: から : まで	利用日数	月・火・水・木・金・土・日
利用年数	平成・令和 年から現在まで	※利用している曜日に○をつけてください。	

(2) 訓練や事業所について

【移行支援事業所の利用開始から現在までに、取得した資格がありますか。】

- ある（取得した資格： _____）
資格の取得に向けて取り組んでいる（取得しようとしている資格： _____）
ない

【事業所や訓練の内容に満足していますか。】

- 十分満足している まあまあ満足している 少し不満だ 不満がありやめたい

【「不満がある」または「やめたい」と答えた人はその理由を教えてください。】

(_____)

【現在、希望している就労先や仕事がありますか。あれば具体的に記入してください。】

(_____)

※p. 8～p. 11 のアンケートにお答えください。

Ⅲ 生活介護事業所・入所施設の方にお聞きします。

(1) 現在の状況についてチェック・記入をお願いします。

①生活介護事業所

事業所名	利用曜日	活動内容
	月・火・水・木・金・土・日	
	月・火・水・木・金・土・日	
	月・火・水・木・金・土・日	

※複数の利用がある場合はすべてお書きください。

②入所施設

施設名	
利用年数	平和・令和 年から現在まで
日中活動	

(2) 事業所内または施設内での活動や状況等について、下記の質問にお答えください。ご本人の記入が難しい場合は、保護者の方または支援者の方にお答えください。

【興味や関心のあることは何ですか。】

- 人とのやりとり 体を揺すられたり触られたりすること 音楽や映像の視聴 玩具等を使って一人で遊ぶこと 玩具等を使って人とやりとりしながら遊ぶこと ICT機器を使って一人で遊ぶこと ICT機器（コンピューター、iPad等）を使って人とやりとりしながら遊ぶこと
ない その他（)

【興味や関心のある対象物、または人に向けて、自ら手を伸ばしたり働きかけたりすることができますか。】

- できる 支援があればできる やや難しい できない

【支援員や利用者の方と、どのようにしてコミュニケーションを取っていますか。】

- 会話 発声 手足や頭部の動き 口唇や眼球の動き ICT機器
その他（)

【活動中に、自分の要求を何らかの方法で支援員の方に伝えることができますか。】

- できる 支援があればできる やや難しい できない

【事業所の日課に沿った活動に取り組めますか。】

- 取り組める まあまあ取り組める やや難しい できない

【支援者が変わっても支援を受け入れ、移動や活動に安全に落ち着いて取り組むことができますか。】

- できる まあまあできる やや難しい できない

【環境や活動が変わっても、落ち着いて活動に取り組むことができますか。】

できる まあまあできる やや難しい できない

※p. 8～p. 11 のアンケートにお答えください。

IV 大学・専門学校・訓練校の方にお聞きします。

校名	
学部名・学科名	
入学・入校年	平成・令和 年 月

※現在大学または専門学校に通われている方にお聞きします。

【(短期) 大学・短期大学または専門学校に入学しようと思った理由を教えてください。】

()

【卒業後はどのような進路を考えているか教えてください。】

()

【学生生活や卒業後の進路について、校内で誰か相談できる人がいますか。】

いる いない

→「いる」と答えた方は誰に相談していますか。

友人・先輩 先生 進路担当職員 その他 ()

※現在訓練校に通われている方にお聞きします。

【訓練校に入校した理由を教えてください。】

()

【訓練内容について教えてください。】

()

【現在の資格取得状況についてお答えください。】

入校してから何らかの資格を取得した (取得した資格名 :)

今後の取得に向けて取り組んでいる (取得予定の資格名 :)

資格試験を受検する予定はない。

※p. 8～p. 11 のアンケートにお答えください。

V 現在の健康状態と日常生活について

【現在使用している移動手段は何ですか。】

車椅子 電動車椅子 クラッチを使用するの歩行 歩行 車

【食事の支援についてお答えください。】

支援は必要ない 一部支援が必要である。 全ての支援が必要である

【入浴について】

一人ができる 一部支援が必要である 全ての支援が必要である

【排泄について】

一人ができる 一部支援が必要 全ての支援が必要である。

【姿勢・運動、健康状態等、卒業時から変化したことがあれば具体的に記入してください。】

例) 体重や食事量の増減、側わんの進行、体の部位の拘縮、発作の頻度の増減、睡眠時間の変化について等

()

VI 生活の形態と福祉サービスの利用について

【当てはまるものにチェックを御記入ください。】

未婚 既婚 家族と自宅で生活している

グループホームで生活している 学校や訓練校の寮

一人暮らしをしている 入所施設で生活している

短期入所を利用している (回/月)

居宅介護(ヘルパー)を利用している(サービスの内容:)

移動支援を利用している(回/月)

相談支援事業所を利用している(事業所名:)

【現在、生活面や利用している福祉サービスについて、何か困っていることや悩んでいることがありますか。】

ある ない

→「ある」と答えた方はその内容について教えてください

()

VII 年金の受給について（20歳以上の方）

【障害者基礎年金を受給していますか。】

している（1級 2級） していない

→「していない」と答えた方はその理由について教えてください。

受給の対象とならなかった（理由： _____）

以前は受給していたが受給の対象外となった（理由： _____）

受給の申請をしていない 現在受給の申請中である

VIII 余暇の過ごし方について

【障害者の方のサークル活動や同好会への参加がありますか。】

ある（活動の内容： _____）

ない 今はないがいずれ参加したいと考えている

したいと思っているが参加の方法が分からない

【休日はどのように過ごしていますか。】

住居場所で一人で過ごす（過ごし方： _____）

住居場所で家族と過ごす（過ごし方： _____）

外出して過ごす

→外出の頻度（ _____ 回程度／月）

→外出の目的（ _____ ）

→外出する相手（一人 家族や同居者 友人 その他）

【現在の休日や余暇の充実度について教えてください。】

十分充実している まあまあ充実している あまり充実していない まったく充実していない

→「あまり／まったく充実していない」と答えた方はその理由を教えてください。

（ _____ ）

IX 社会に出てから必要な力や、在学中に身に付けておくべき力はどんなことだと思いますか。I～IVの項目から、それぞれ大切だと思うものを2つずつ選んでください。また、選んだ理由を下の欄に記入してください。

I 【自己理解・自己管理】

- (1) 自分の得意なことや不得意なことを理解して行動することができる。
- (2) 自分の好きなこと、興味のあることや趣味をもつことができる。
- (3) 自分の健康状態や障害について理解することができる。
- (4) 生活のリズムを整え、体調管理に気をつけることができる。
- (5) 体調が悪いときに、人に伝えたり自分で対処したりすることができる。
- (6) 学校生活を楽しく過ごし、周囲に関心を示して学習に取り組むことができる。
- (7) 自分に必要な運動を理解し、体を動かす習慣を身につけ運動することができる。
- (8) 睡眠、食事、排泄等の支援について、周囲の人に依頼することができる。

番号	理由

II 【課題対応】

- (1) 困ったときに周囲の人に相談することができる。
- (2) 人や場の変化など、環境の変化に対しても安定した情緒で活動に取り組むことができる。
- (3) 失敗しても気持ちを切り替え、前向きに取り組むことができる。
- (4) 身近なことで知りたいことや分からないことを学ぼうとすることができる。
- (5) 危険なことに注意しながら、安全に活動に取り組むことができる。
- (6) 自然に親しんだり、社会の現象に関心をもったりすることができる。

番号	理由

III 【人間関係形成・社会形成】

- (1) 返事、挨拶、ていねいな言葉遣いができる。
- (2) 適切な報告・連絡・相談ができる。
- (3) 相手の意見を尊重し、相手の立場に立って考えることができる。
- (4) 要求や依頼、悩みなどを周囲の人に話しかけたり、何等かの方法で依頼をしたりすることができる。
- (5) 自分が伝えたいことを、相手が理解できるように工夫しながら伝えることができる。
- (6) 集団の中でルールを守りながら、仲間づくりや人と協力して行動することができる。
- (7) 他者が提示した見慣れない物であっても、見たり触れたりしようとするすることができる。
- (8) 日常生活に必要な姿勢保持や移動を状況が変わっても安全に行うことができる。

(9) 誰からの関わりに対しても、積極的に関わったり、自分の思いを表情や発声、身振りなど自分なりの方法で伝えたりすることができる。

番号	理由

IV【キャリアプランニング】

- (1) 苦手なことや難しいことにも取り組むことができる。
- (2) 係の仕事や手伝いなど、自分の役割を果たしながら協力して行うことができる。
- (3) 自分なりの楽しみがあり、余暇活動に生かすことができる。
- (4) 自然、芸術、文化的なことに関心をもち、楽しむことができる。
- (5) 福祉制度や福祉サービスの利用方法について理解し活用することができる。
- (6) 将来就きたい職業や夢について考えることができる。
- (7) 自分の考えや価値観を大切にしながら自己決定ができる。

番号	理由

V【その他】

<学習面>

- (1) 読み書きすることができる。
- (2) 計算をすることができる。
- (3) ICT（コンピューター、iPad等）を使うことができる。
- (4) 資格や検定試験の取得に向けて取り組むことができる。

<運動能力>

- (5) 緊張の弛緩の方法を理解している。
- (6) 姿勢を保持することができる。(頭部保持 臥位 座位 立位)
- (7) 自力で移動することができる。
- (8) 車椅子または電動車椅子を適切に操作することができる。
- (9) 装具等を利用して移動することができる。
- (10) 排泄や食事の際に、支援者がよりスムーズに支援を行えるように工夫をすることができる。

番号	理由

質問は以上になります。御協力ありがとうございました。このアンケートで得られた情報は、本校での進路指導等でのみ利用させていただきます。それ以外で利用することはありません。